審査委員の適格性証明および倫理規定

すべての審査委員はコンテストの前にこの様式に記入し、各レベルのコンテストにおける審査委員長に対して提出するものとします。

コンテストの名称： □ 論評　□ユーモア　□日本語スピーチ　□テーブルトピックス　□ほら話

（どれか一つにチェックすること）

コンテストのレベル： □クラブ　□エリア　□ディビジョン　□ディストリクト　□国際準決勝　□国際決勝

コンテストの日付： _____

適　格　性 （すべてのコンテストについて記入のこと）

トーストマスターズスピーチコンテストにおける、審査委員長、投票審査員および同点決着審査員は、以下に示す適格性を満たしていなければならない

１．クラブコンテストにおいて、審査委員は活動良好な会員であること。
２．エリア、ディビジョン、ディストリクトコンテストにおいては：
　　a.　少なくとも６ヶ月間の活動良好な会員であること
　　b.　コンピテント・コミュニケーションマニュアルの少なくとも６つのスピーチプロジェクトを完了していること，もしくはPathwaysのレベル1および2の修了証を得ていること。
３．国際コンテストの準決勝および決勝においては：
　　a.　少なくとも6か月間の活動良好な会員であること
　　b.　少なくともアドバンスト・トーストマスター・ブロンズあるいはアドバンスト・コミュニケーター・ブロンズであること、もしくはPathwaysの少なくともひとつのパスを修了していること。
　　c.　エリア、ディビジョン、ディストリクト、準決勝レベルでの審査経験があること
４．クラブレベルを超えるコンテストでの審査員は同じコンテスト期間における同種のコンテストに出場することができない

審査委員倫理規定

1. 私は、最大限の客観性を払い、コンテスト出場者の1位、2位、3位を選ぶ際に、意識的に、いかなる偏見も持たないようにします。私はどのコンテスト出場者についても、所属クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトを考慮しません。また、出場者の年齢、性別、人種、信条、出身国、職業、あるいは政治信念も考慮しません。
2. 私は、コンテスト出場者のスピーチの時間を測定しません。また、審査を行なう際には、スピーチが時間不足あるいは時間超過となる可能性を考慮しません。
3. 私の言動は、コンテスト規則と審査基準に従います。コンテストを公に批判することを慎み、コンテスト規則に従って審査委員として参加し、得点し、順位をつけるのみです。
4. ディビジョン、ディストリクト、準決勝、国際レベルの審査を行うにあたっては、私はどの出場者とも同じクラブの会員ではありません。
5. 私は、どの出場者とも偏見を引き起こすような利害対立はありません。

私は現行のスピーチコンテスト規則に従って、審査委員を務める資格を有することと、審査委員倫理規定を守ることを証明します。

署　名：_____　　活字体：_____

日本語版 2020年12月改訂（英語版Item 1170 Rev 3/2020に準拠）